

○ 年度の重点目標や努力目標に焦点を当てた例 (その1)

下の例は、年度の努力目標に照らし評価領域・項目を教育課程（教育計画の大綱）に限定している。

評価要素の設定に当たっては、教育課程編成の方針・組織及び実態把握を受け、指導計画の作成・指導内容及び授業時数の適正を図るため、22の評価要素から、自校の実態の評価をしている。評価観点も理解しやすい表現であり、評価に当たっての必要な資料と留意点が各要素ごとにのっているため、評定の基準も明らかになっている。

E3 教育課程（教育計画の大綱）

評価領域・項目	評価要素	評価観点	評価に必要な資料及び留意点	評定・評価	
E3 教育課程 （教育計画の大綱）	E31 教育課程編成の組方針及び実態把握	(1) 編成の基本方針及び手順の共通理解	① 教育課程編成の基本方針及び手順が明確にされ、共通理解が図られている。	学習指導要領、解説、指導書、指導資料、教育目標、重点目標	5 4 3 2 1 ? [][][][][]
		(2) 編成のための組織の機能	② 教育課程編成のための組織（職務の分担、協力姿勢）が機能している。	教育課程編成の方針や手順	[][][][][]
		(3) 教育課程の基準に関する資料の整備・研修	③ 学校の編成する教育課程についての、国、県及び市町村教育委員会の作成した基準・手引などの資料が整備され、研修されている。	学習指導要領、解説、指導書、指導資料、教育委員会規則、編成の手引	[][][][][]
		(4) 実態把握に必要な調査・研究と教育課題	④ 地域、学校及び児童生徒の実態把握に必要な調査・研究が行われ学校の当面する教育課題が明らかになっている。	教育目標、重点目標、児童生徒の実態調査資料	[][][][][]
		(5) 前年度の教育課程の検討・改善	⑤ 前年度の教育課程の検討が行われ、改善すべき事項が明らかにされている。	教育課程実践評価資料、進度の記録、年間指導計画実施記録	[][][][][]
	E32 指導計画の作成・指導内容及び、授業時数など	(6) 学習指導要領に基づいた指導計画の作成	⑥ 各教科、道徳及び特別活動の指導計画は、学習指導要領に基づき教職員の協働によって作成されている。	教育指導計画、道徳指導計画、特別活動指導計画	[][][][][]
		(7) 指導目標・内容の重点と児童生徒の実態	⑦ 指導目標や指導内容の重点は、学校の教育目標、地域及び児童生徒の実態に即したものとなっている。	教育目標、指導計画	[][][][][]
		(8) 基礎的・基本的事項と教材精選	⑧ 各教科の基礎的・基本的な事項が確実に身につけられるように配慮して教材精選が行われている。	指導計画、児童生徒の基礎学力調査	[][][][][]
		(9) 指導内容の順序及び相互の関連	⑨ 指導内容の配列順序及び指導の時期は、指導内容の相互の関連及び指導の系統性・発展性からみて適切である。	指導計画、授業進度の記録、教育課程実践評価資料	[][][][][]
		(10) 指導内容の順序などと児童生徒の実態	⑩ 指導内容の配列順序及び指導の時期は、地域、学校及び児童生徒の実態からみて適切である。	指導計画、授業進度の記録、教育課程実践評価資料	[][][][][]
		(11) 道徳実践の指導	⑪ 児童生徒の道徳実践の指導を徹底する道徳教育が、学校の教育活動全体を通じて行われている。	道徳教育計画、道徳指導計画実践記録	[][][][][]
		(12) 体育的活動の実践を促す指導	⑫ 学校の体育に関する指導が、児童生徒の日常生活における体育的活動の実践を促すように、教育活動全体を通じて行われている。	実践記録、学校行事指導、実施計画	[][][][][]
		(13) 学校生活全体における	⑬ 学校生活全体における言語環境が整えられ、児童生徒の言語活動	教師と児童生徒の言語環境、教材・教具、教育機器、資	[][][][][]